

# 少林寺拳法



防衛大学校少林寺拳法部

平成14年度 部誌・OB会報 No.29

HPアドレス : <http://www.nda.ac.jp/ed/syorinji/>

## 目 次

### 部 誌

- 1 部長挨拶 応用化学科 教授 菅野 等
- 2 学生寄稿
  - 4 7期 主 将 矢野 健一  
副 将 谷口 裕昭
  - 4 8期 主 将 対比地 貴行  
副 将 廣神 敏
  - 4 9期 中山 智晴  
永田 忠義
  - 5 0期 山本 篤  
稲垣 孝洋
- 3 平成14年度部員名簿
- 4 平成14年度活動成果
- 5 各種大会個人成績
- 6 平成15年度年間活動計画
- 7 少林寺拳法部第48期政権編成表

### 奥平会報

- 1 巻頭言 奥平会会長 14期 中原 勇
- 2 平成14年度奥平会活動概要
- 3 平成15年度奥平会活動予定
- 4 奥平会特別会費徴収結果および来年度以降の見通しについて
- 5 期連絡網について
- 6 連絡事項
- 7 奥平会員名簿

別冊 奥平会員名簿

# 部 誌

## 1 ご 援 援

部長 菅野 等

合掌

イラクや北朝鮮問題、なかなか回復しない日本の景気など問題山積の状態でも2003年を迎えましたが、OB諸兄(姉)におかれましては夢多い明るい年を迎え、元気はつらつとご活躍のことと推察しております。

防大少林寺拳法部の部員数が増えない問題は、部員と顧問一同の必死の努力も適わず、なかなか解決できないでおります。しかし、対外的な成績の方は、先輩が築いてくれた輝かしい伝統を部員数が少ない割には良く引き継いでいると言えます。昨年は全日本学生大会で5年ぶりに団体演武で最優秀の成績を収めることが出来、防衛大学創校50周年のお祝いにささやかながら花を加えることができました。

現在は、主将は矢野君から対比地君へ、監督は米山2佐から高取1尉へとバトンタッチして、部員一同一生懸命に練習に励んでおります。また、今年こそは部員数大幅増加の目標を達成しようと意気込んでおります。

今年も先輩諸兄(姉)の温かいご支援とご指導をお願いします。

結手

## 2 学生寄稿

### 4年間を通じて

47期 主将 矢野 健一

合掌

現在防大少林寺を引退した私はノンポリ生活を謳歌中である。本当にこの私が防大少林寺拳法部の部員だったのか思ってしまうこともあるくらい今は少林寺と離れてしまった。しかし、今までの生活を鑑みるに、私の防大生活は全て少林寺に捧げた(≠奪われた)気がする。必死に上級生の背中をひたすら追いつづけた1学年、黒帯シ〇キの2学年、自己満・自己中発揮、体に悪い団演生活の3学年、どのようにすれば部員が少林寺を好きになり、又日本一を取れるようになるかを考え続けた4学年。つまりは喜怒哀苦苦苦…しかし、大会には8回出場でき、そして賞を8つ頂き、最後の全日本学生大会では5年ぶりの団演日本一を取り戻した。何と波乱万丈な4年間だったのか。この4年間で得た物と言えば、日本一、懐かしい思い出、素晴らしい政権、シバキ方、体力、気力、両肩脱臼癖…。しかしこれらを、日本一すらも越える物がある。それは同期の9人(+村上)である。きつい練習を共に分かち合い、共に涙した同期は一生の宝である。本当にみんなと出会えて最高です!!!

最後に、私たち47期を支えて頂いた神田先生、頼富先生を始めとする関係各位の方々に感謝申し上げ、又48期以下が素晴らしい少林寺生活を送れる事を祈願して私の挨拶とさせていただきます。

結手

### 47期政権を終えて

47期 副将 谷口 裕昭

合掌

卒業まであとわずかという時期になり、この防大生活4年間振り返ってみると、少林寺のことしか頭にありませんでした。

昨年は、団体演部で2位で悔し涙しかでませんでした。今年は、47期以下全員が一つになって、団体演部、日本一をとれて本当にうれしいでした。少林寺は勝ち負けにこだわらないと言いますが、やはり勝たなければならないと思います。

この4年間、技だけではなく、体力、気力、そして、同期との絆を学び、とても充実していました。今後もこの経験を生かして、自分の人生に活かしていきたいと思います。

結手

## 本当の涙

48期 主将 对比地 貴行

合掌

団演とは何か。今年度、我が防大少林寺拳法部は、全日本学生大会団体演武の部において、念願の最優秀の評価を得ることができました。これも師範の先生、監督をはじめとする諸先輩の方々のご支援があったからこそであり、改めましてここに深く感謝申し上げます。

実は、私は短期海外派遣のため、大会に出場していません。そのような私にとって、全日本学生大会のビデオを目にした時、団体演武に出場した12人の誰もがヒーローのように見えたのは言うまでもありません。しかし、その影には団体演武部に出場できずに悔しさを噛みしめていた影のヒーローがいたことを誰も知る由はありません。その男とは砂川弘樹。彼程48同期生の中で最も怪我が泣かされ、一番体が不自由なことに苦しんだ男はいません。砂川は、1学年の頃から怪我が多く、身体能力もそれほど高いほうではなかったため、技術的にも体力的にも皆より遅れをとっていました。そんな彼でも、団体演武に対しては強い信念を持っていました。「今までいつも大会に出場することなく、雑用だけをしていた自分がいた。しかし、今回の団体演武は自分にとって初めて最後の晴れ舞台だ。今まで少林寺をやってきたことを否定されない、したくないためにも、団体演武に出て必ず最優秀を取る。」と、彼は肩の痛みに堪えながら、何度も何度もその苦しさに正面からぶつかっていました。肩を脱臼しても、なお最後まで練習をやり続けました。ただでさえ厳しい団演の練習を、人の制止も聞かずに…。私は、そんな砂川の姿に圧倒され、尊敬の念を抱かずにはいられませんでした。彼と同期であることを誇りに思います。

結局、砂川は肩の脱臼がひどかったために、リタイアすることとなりました。その後、トイレでひたすら肩をアイシングしていた彼に近寄り、私は一言声をかけました。「もういい。十分に戦い抜いた。よくここまでがんばった。」と。この言葉をかけている時、私の目からは自然と涙が出ていました。砂川も私の言葉を聞いた時初めて、声を上げて涙を流しました。男の流す本当の涙というものを…。私は感じました。これが団演の真のあるべき姿であろうと。私は砂川が流した涙を絶対に忘れません。

政権交代して、私は指導される側から指導する側に立った今、砂川の流した、本当の涙の意味するところを後輩に何らかの形で伝えることができれば、と思っています。

結手

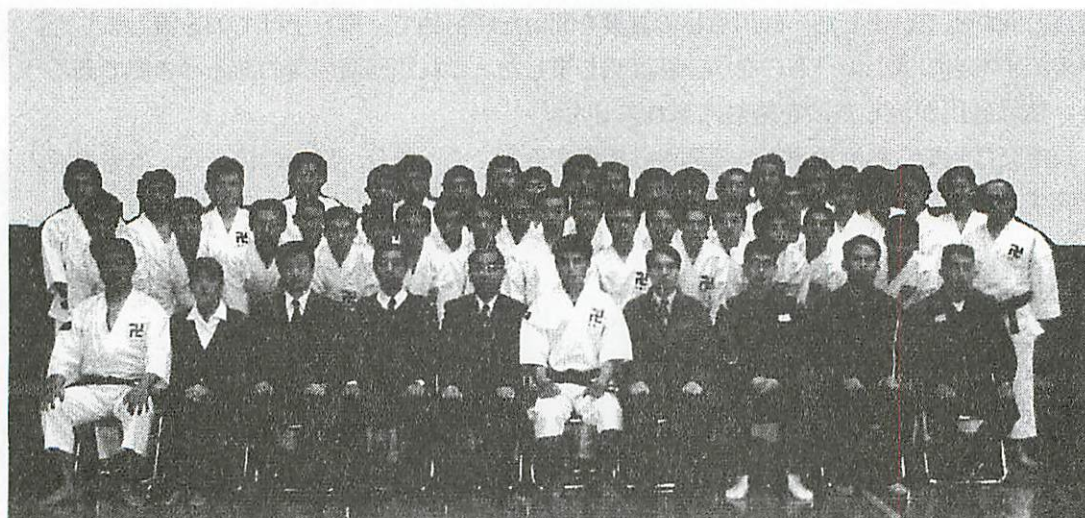
## 48期団演

48期 副将 廣神 敏

合掌

48期は団体演武をするのも、最低限必要な人数である8人しか在籍していない。平成14年度関東学生大会では、この8名で挑んだ。一人でもけがをすれば、出場できなくなる。練習時間もとても少なく、なかなか完成せず、焦っていた。大会直前には何とか仕上げたものの、結果は2位。この時、全日本は絶対取ってやると心に誓った。実際、今年度の全日本学生大会では、団体演武最優秀。43期以来5年ぶりの栄光だ。しかし、ここまで至るのには、決して簡単なことではなかった。全日本の団演は、47、48、49期を混ぜた12人で行った。47期からは、昨年の無念を晴らすべく、手厚い指導をして頂いた。49期には多大な協力してもらった。私自身はこの大会に参加することが出来なかったが、練習はずっと一緒にやってきた。慣れない12人演武という点と、例年よりも早くに全日本が実施されるため、練習時間が少ないという点で、やはり大会直前までなかなか仕上がらなかった。しかし、何か感じる物はあった。その結果が勝利となった。これは決して48期だけで取ったものではない。しかし、48期が主体であるこの団演で最優秀であったことは、とても大きな物を得た。来年度は49期主体の団演である。私達48期は連覇を取り、防大の全盛期を取り戻すため、精一杯指導していくつもりである。

結手



## 少林寺と私

49期 中山 智晴

合掌

私は入校当初、山が好きだったので山岳部か、ワンダーフォーゲル部に入るか、武道もやってみてみたかったので合気道部か、少林寺拳法部か、と迷っていました。山をやめた理由としては土日や祝日しか山に登ることができないことが大きな理由であり、合気道か少林寺拳法か、については何となく部の雰囲気が私にあっていような気がしたので入部することに決めました。入部して2年が経過し、このクラブは、きつい時こそ楽しく笑顔で盛り上がり、乗り越えて行く所なんだな—というのが実感としてあり、とても積極的でいい考え方だと思います。本当にこのクラブに入ってよかったと思いました。これからもつらいときや、きついときなどがあるだろうけれどこの考え方を忘れずにがんばって生きたいと思います。

結手

## 誇り

49期 永田 忠義

合掌

防衛大学校に入って私が校友会に少林寺拳法部を選んだのは、私が経験者だった事もあって47期の先輩から勧誘していただき、私自身武道に興味があったからだ。しかし経験者と言っても、入部してからの練習の苦しさは全く未経験の物だった。正直に言えば、辛くて止めたくなかった事だってあった。だが、やがて気がついた。一日の厳しい練習をやり通したあとに、体の内からこみ上げてくる充実感というものに。練習が苦しいからこそ、自分自身を完全燃焼させてこそ、初めて手に入るその充実感の大きさを、少林寺拳法部に入ったおかげで知ることができたと私は思っている。ただただ苦しいだけの練習でなく、いつも隣にいる同期と励まし合いながら頑張っていける少林寺拳法だからこそその楽しさがある。同期の存在無しにこれまで頑張ってくることは出来なかった。彼らと共にこれから関東や全日本の大会へ挑戦していける事を、私は誇りに思う。

結手

## 防大少林寺拳法部の思い出作り

50期 山本 篤

合掌

私が防大少林寺拳法部に入部したのは、幼稚園の年長の時から少林寺拳法を習っていて、大学に行っても続けてみようと思ったからだ。防大における少林寺拳法には活気があふれていた。大学では比較的年齢が近いのでお互いに練習もしやすく、道場とは一味違う楽しさがあった。とはいっても練習は辛く何度も嫌に思うことはあったが、そんなときに頼りになったのは自分の周りの同期だった。同じ辛さを味わいながらもお互いに励ましあって頑張っていく。そうして後になって振り返ると精神的にも肉体的にもどんどん強くなっている自分たちに気づくのだ。この数ヶ月防大の少林寺をやってきたわけであるがたくさんの思い出がきた。そしてこれからもたくさんの思い出を作っていこうとおもう。目標はもちろん日本一を取ることだ。

結手

## 防大少林寺拳法のススメ

50期 稲垣 孝洋

合掌

少林寺拳法部のいいところとはとにかくアツイところです。どういう風にと言うとやってみれば一番わかりやすいと思いますができる限り私の言葉で説明したいと思います。まず、精神的に鍛えられ、自分からできない理由を探したり自分に限界をつくったりするのはこの部に入ればおさらばできます。あと、同期の団結も非常に強く、信頼できる仲間ができます。人間はきついことをやっているときそのまま苦しそうな表情をしたり暗くなったりしますが、少林寺拳法部では皆笑ってトレーニングします。これは辛い時こそ楽しくということを実践しているわけで、これはクラブの時だけではなく日常生活でも応用できます。私はこの精神が大好きで、このような雰囲気になったときの少林寺拳法部が本当に好きです。他の部の友人にも練習風景をみられて雰囲気いいねといわれました。また、武道の本道である強さも得られます。私も最初にくらべたら突き蹴り柔法が格段にうまくなりました。同期や上級生との雰囲気も抜群の少林寺拳法部はとてもいい部活です。最後にもう一度言いますが、アツイです。

結手



### 3 平成14年度部員名簿

期 別	小 隊	専 攻	要 員	氏 名
47期	111	精密	陸	松尾 崇嗣
	143	国関	陸	関家 健一郎
	231	応物	陸	村重 亮 *
	241	材物	海	谷口 裕昭
	241	機工	陸	久郷 一雄
	313	土木	陸	田中 勝茂
	313	航宇	空	溝上 雅央
	343	電子	陸	樋口 智志
	412	公政	陸	本田 一郎
	422	応化	陸	矢野 健一
	441	応化	陸	半澤 武久
48期	312	機材	海	飯沢 直人
	322	公政	陸	岩田 伸太郎
	412	国関	海	砂川 広樹
	441	航宇	海	廣神 敏
	442	航宇	陸	小林 猛
	443	地球	陸	藤原 宏匡
	443	国関	陸	対比地 貴行
49期	222	国関	陸	中山 智晴
	321	情報	陸	西川 尚紀
	322	情報	陸	ター・ミン・タイン
	331	情報	海	房野 賢一
	432	航宇	陸	郡山 伸衛 *
50期	241	理工		山内 祐介
	332	理工		砂原 正法
	343	理工		樋口 哲士
	412	理工		藤井 貴志
	412	理工		鳥居 悠希
	422	理工		牛嶋 敬幸
	423	理工		山本 篤
	423	理工		永田 忠義 *
	433	人文		稲垣 孝洋
441	人文		松岡 晋	

(平成15年1月1日現在)

\*印：留年

#### 4 平成14年度活動成果

期 間	行 事	場 所	大会等成果
5月4日	関東学生大会	日本武道館	団体演武：優秀 男子段外：敢闘
5月25日	新入生歓迎行事	防衛大学校	新入部員数 11名
6月8日	青山学院大学 との合同練習	防衛大学校	
6月9日	慶応・早稲田大学 との合同練習	防衛大学校	
6月16日	横須賀・三浦ブロック 大会	横須賀南部体育館	一般初段：最優秀
8月1日 ～3日	夏合宿	防衛大学校	
9月1日	神奈川県大会	横浜文化体育館	未出場（役員のみ）
10月13日	全日本学生大会	日本武道館	団体演武：最優秀 男子三段以上：敢闘
10月19日	関東学生OB連合会 20周年記念	帝国ホテル	
11月8日	政権交代	防衛大学校	
11月16日 ～17日	開校記念祭での 演武披露	防衛大学校	
11月30日 ～12月1日	全自衛隊大会	市ヶ谷駐屯地	団体演武：最優秀 組演武三段以上：優良 組演武初二段：最優秀 組演武段外：最優秀 単独演武有段：最優秀
1月14日 ～17日	寒稽古	防衛大学校	
2月8日	少林寺拳法部OB杯 OB総会	防衛大学校	
2月8日	納会	セントラルホテル	
3月26日 ～29日	春合宿	防衛大学校	

## 5 各種大会個人成績

### 関東学生連盟大会(平成14年5月4日:日本武道館)

男子段外の部	敢闘賞	222(2)中山智晴・331(2)房野賢一
男子二段の部	決勝進出	241(4)久郷一雄・441(4)半澤武久
男子三段以上の部	決勝進出	313(4)田中勝茂・422(4)矢野健一
男子三人掛けの部	決勝進出	241(4)谷口裕昭・343(4)樋口智志・412(4)本田一郎
団体演武の部	優秀	312(3)飯沢直人・322(3)岩田伸太郎 412(3)砂川広樹・432(2)郡山伸衛 441(3)廣神敏・442(3)小林猛 443(3)対比地貴行・443(3)藤原宏匡

### 全日本学生大会(平成14年10月13日:日本武道館)

男子段外の部	決勝進出	343(1)樋口哲士・412(1)鳥居悠希
男子三人掛け	決勝進出	241(4)久郷一雄・313(4)溝上雅央・343(4)樋口智志
男子三段以上の部	敢闘賞	313(4)田中勝茂・422(4)矢野健一
団体演武の部	最優秀	422(4)矢野健一・241(4)谷口裕昭・313(4)田中勝茂 441(4)半澤武久・143(4)関家健一郎・312(3)飯沢直人 322(3)岩田伸太郎・442(3)小林猛・443(3)藤原宏匡 112(2)北村暢郎・331(2)房野賢一・432(2)郡山伸衛

### 全自衛隊大会(平成14年12月1日防衛庁市ヶ谷駐屯地体育館)

男子段外の部	最優秀	343(1)樋口哲士・412(1)鳥居悠希
初二段の部	最優秀	441(3)廣神敏・443(3)対比地貴行
三段以上の部	優良賞	OB 井田輝彦・顧問 岩谷正一
単独演武有段の部	最優秀	443(3)対比地貴行
団体演武の部	最優秀	322(3)岩田伸太郎・441(3)廣神敏・112(2)北村暢郎 321(2)西川尚紀・331(2)房野賢一・423(1)永田忠義

## 6 平成15年度年間活動計画

\*尚、各月一回を基準に師範日を予定

期 間	行 事	場 所	備 考
4月中	全力勧誘期間	防衛大学校	目標：15名
5月4日	関東学生大会	日本武道館	
5月24日	新入生歓迎行事	千葉県能忍寺	奉仕作業、座禅会
6月7日	他大学との合同練習会	防衛大学校	
6月8日	昇段審査	藤沢翔陵高校	2・3・4年対象
6月15日	他大学との合同練習会	明治大学	
6月22日	慶応・早稲田大学との合同練習会	防衛大学校	
6月28日	関東学生OB連合会総会	駒沢大学	
7月6日	神奈川県大会	横浜文化体育館	顧問出場
8月中旬	本山合宿	本 山	49期生、希望者
8月下旬	夏合宿	未 定	
10月5日	全日本学生大会	代々木体育館	
時期未定	横須賀・三浦地区大会	未 定	
11月9日	開校記念祭での演武披露	防衛大学校	
11月中旬	政権交代	防衛大学校	
11月15日	全自衛隊大会	市ヶ谷	
11月16日	関東学生OB現役懇親会	国士舘世田谷	
11月23日	関東学生OB連合会懇親会	未 定	
1月下旬	寒稽古	防衛大学校	
2月中旬	OB杯演武大会・納会・OB総会	防衛大学校	
3月下旬	春合宿	未 定	

## 7 少林寺拳法部第48期政権編成

役 職	氏 名	所 属	要員・専攻
主 将	对比地 貴行	4 4 3	陸上・国関
副 将	廣神 敏	4 4 1	海上・航宇
統制長	岩田 伸太郎	3 2 2	陸上・土木
道場長	飯沢 直人	3 1 2	陸上・公政
主 務(兼)	廣神 敏	4 4 1	海上・航宇
会 計	小林 猛	4 4 2	陸上・航宇
訓 練	藤原 宏匡	4 4 3	陸上・地球
安 全(兼)	藤原 宏匡	4 4 3	陸上・地球
3年係(兼)	对比地 貴行	4 4 3	陸上・国関
2年係	郡山 伸衛	4 3 2	陸上・航宇
1年係(兼)	小林 猛	4 4 2	陸上・航宇
師範係	砂川 広樹	4 1 2	海上・国関
本山係(兼)	砂川 広樹	4 1 2	海上・国関
OB係(兼)	郡山 伸衛	4 3 2	陸上・航宇

# 奥平会報

## 1 巻頭言

奥平会会長 中原 勇

合掌

奥平会会員の皆様におかれましては、益々ご健健にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

国際情勢は、一昨年米国同時多発テロ以降、アフガニスタンでの作戦後も、インドネシア・バリ島での爆破テロ、モスクワでの劇場人質テロ、イスラエルでの自爆テロなどが頻発し、姿なきテロ組織との戦いは、終わりなき戦いの始まりを予感させるものがあります。

今年も、イラク問題、北朝鮮問題など大変難しい問題を抱えるなど、国際情勢は依然として不透明・不確実な状況にあります。国内経済は、金融不安、企業の倒産やリストラ推進などによる失業者の増加と雇用不安・賃金カット、更には、少子高齢化に伴う医療・年金問題等将来への不安などから、国内消費は低迷するとともに安売り競争など、デフレスパイラルの真っ最中であり、我々公務員についても、昨年の12月には4月に遡及して給与が減額されるという大変厳しい現況にあります。一方、自衛隊は、テロ対策特別措置法に基づく灼熱のインド洋での後方支援、ゴラン高原及び東チモールでの国連平和維持活動など国内外で活躍し「行動して評価される時代」の真っ最中であり、ソフト面では、「有事3法案」の今通常国会成立と防衛庁から防衛省への移行も近々実現するのではと期待される所です。このように、国内外ともに大変厳しい諸情勢下にあつて、奥平会の会員の皆様が、国内は勿論、国外においても大いに活躍されんことを心から祈念申し上げます。

防大少林寺拳法部の昨年の活動成果については、全国学生大会団体演武「最優秀」ということであり、立派に伝統を受け継いでくれております。近年の学生気質から部員の確保には大変苦労が多く、3学年だけで団体演武を組むのは無理な現況にあり、このような中であつての「最優秀」であり大変素晴らしい成果だと思料するものです。学生諸官の真摯な修行に敬意を表する次第です。

奥平会としても、防大少林寺の充実・発展のために、微力ながら、今後とも支援を継続してまいりたいと思っております。会員の皆様には、臨時OB会費の徴収など大変ご迷惑をお掛けしますが、防大少林寺の現況にご理解を賜り、皆様のご支援ご協力の程を何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員並びにご家族皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

結手

## 2 平成14年度奥平会活動概要

### 1 現役部員に対する支援

夏季合宿、市民大会、全自衛隊大会、関東・全日本学生大会等への支援をそれぞれ実施致しました。細部は別紙第1「平成14年度奥平会活動成果報告」のとおりです。

OB・OGの各位におかれましては、ご多忙中にもかかわらず、大会等の応援、支援を多数頂き、誠に有難うございました。おかげさまで無事に各種行事をおこなうことが出来ました。感謝の意をここに表しますとともに、来年度につきましても変わらぬご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### 2 総会の実施

平成15年2月8日に防大において平成14年度奥平会総会を開催しました。総会では、活動報告及び会計報告を行った他、特別会費の徴収及び今後の奥平会活動について発議しました。出席いただいた会員の方々、ありがとうございました。

### 3 平成14年度会計報告

別紙第2「平成14年度奥平会決算報告書」を参照してください。

## 3 平成15年度奥平会活動予定

### 1 平成15年度奥平会活動内容

別紙第3「平成15年度奥平会活動計画」を参照してください。

### 2 平成15年度奥平会予算

別紙第4「平成15年度奥平会予算計画」を参照してください。

### 3 平成15年度奥平会本部

役 職	期 別	氏 名	連 絡 先
会長	14A	中原 勇	関西補給処長
副会長（市ヶ谷等）	17A	鈴木 陽	防衛研究所副所長
副会長兼総括幹事	37N	高取 哲郎	8-40-2103
会計監査委員	17F	前田 慎一	8-40-3861
会計・広報	42A	井田 輝彦	8-40-3379
庶務	43A	徳永 亘	8-40-3353

## 4 奥平会特別会費徴収結果および来年度以降の見通しについて

防大奥平会会計係 2等陸尉 井田輝彦（42期）

### 1 平成14年度の会計について

14年度の会計は13年度から引き続き支出事項の見直しを行い、現在の少林寺拳法部の活動事情に合わせた支出へと改善を行った結果、今年度は昨年度より約18万円の支出を削減することができました。また、今年度も技術向上支援金を縮小した分、新入生勧誘をはじめとする学生生活の支援に使用しました。細部は次表のとおりです。

収 入		支 出	
前年度繰越金	¥1,287,655	H14 年度会報発行費	¥40,776
OB 会費（46期7名）	¥375,900	各種大会支援	¥162,000
特別会費	¥346,300	合宿支援	¥8,626
利 息	¥4,523	学生生活活動支援	¥112,155
合 計	¥2,014,378	技術向上支援	¥200,000
		奥平会運営及び活動費	¥126,000
		合計	¥649,557
残高（収入－支出）			¥1,364,821

### 2 残高推移の試算

今年度の支出は、昨年度の見積もりでは年間約800,000円でありましたが、卒業生数の増加による収入の増加及び支出の削減により、前年度より77,166円繰り越すことができました。しかしながら、部員数は4学年10名、3学年8名、2学年5名、1学年10名と少なく、特別会費が無かったと見積もると、今年度も269,134円の赤字となっております。来年度以降も、おそらく20～40万円の年間赤字が見込まれます。

（細部は付紙「OB 会特別会費徴収に関する細部分析」を参照）

### 3 対 策

支出抑制の努力を継続するのは勿論のことですが、前項でも述べたようにこれ以上の活動経費の削減は極めて難しいと思われます。そのため、今年度に引き続き平成15年度も特別会費の納入をお願いします。これは、先の本総会において会則第6条を適用し、以下の通り会員から特別会費3,000円を徴収することで承認された件に則っております。なお、徴収金額については賛同者数を考慮しつつ収入全体を見ながら今後も検討が必要と考えますが、今年度も同額をいただくことをご了承願います。



## 5 期連絡網について

### 1 主旨

奥平会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理する。

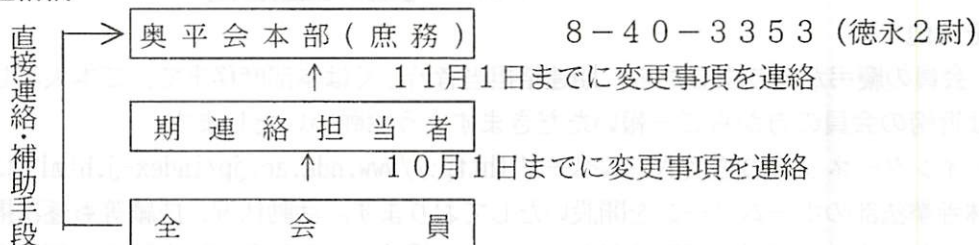
### 2 連絡の要領

- (1) 各期に1名、連絡担当者をおく。
- (2) 会員は、住所・所属等が変更になった場合、各人は毎年10月1日までに同期生の連絡担当者に連絡し、変更事項を告げる。
- (3) 連絡担当者は、年度の変更事項をまとめて毎年11月1日までに奥平会本部（防大庶務）に連絡する。（連絡の無い場合は、防大同窓会名簿及び昨年度のデータを用いる）
- (4) その他、会員の慶弔に関する事項については、各人ごと直接又は連絡担当者を通じて奥平会本部に連絡するものとする。

### 3 連絡担当者の指名

3年を任期とし、次の担当者を指名する（継続を妨げない）。

### 4 期連絡網



### 5 期連絡担当者（15.3.1現在）

別冊「奥平会員名簿」をご覧ください。

## 6 連絡事項

### 1 会員名簿の更新について

会員名簿につきまして所属等不明者は、空欄にしております。本人もしくはその所属等を知っておられる方、また記載内容の間違い等にお気付きの点がございましたら期連絡担当者又は防大本部庶務まで御連絡ください。なお、期担当連絡者から連絡がなかった期については、各人の所属等は防大同窓会及び昨年度のデータを使用いたしました。

### 2 期連絡網について

期連絡網について別項のように設置していますので、会員の皆様におかれまして住所の変更等がありましたら期連絡担当者まで御連絡ください。

### 3 本部連絡先

防衛大学校研究科 2等陸尉 徳永 亘

専用線 8-40-3353

局線 046-841-3810 (3353)

e-mail : [g42007@nda.ac.jp](mailto:g42007@nda.ac.jp)

### 4 その他

(1) 会員の慶弔がありましたら、期連絡担当者若しくは本部庶務まで、ご本人若しくは近傍の会員の方からご一報いただきますようお願いいたします。

(2) インターネットの防大ホームページ (<http://www.nda.ac.jp/index-j.html>) に少林寺拳法部のホームページを開設いたしております。活動状況、成績等も逐次掲載しておりますので是非ご覧ください。また、経済的にも作業的にも防大本部員を圧迫してきた会報の作成・配布をこのホームページに代えることも検討しております。

## 7 奥平会員名簿

### 1 奥平会名誉会員名簿

別冊「奥平会員名簿」をご覧ください。

### 2 奥平会員名簿

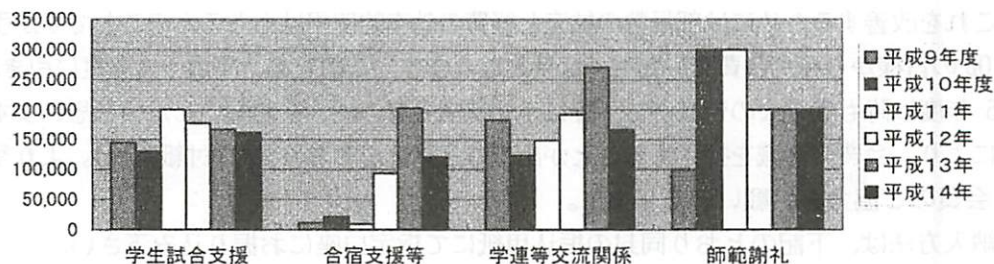
別冊「奥平会員名簿」をご覧ください。

### OB会特別会費徴収に関する細部分析

必要経費の推移

	学生試合支援	合宿支援等	学連等交流関係	師範謝礼	合計	備考
平成9年	144,000	11,792	183,500	100,000	439,292	校友会師範支援中止
平成10年	130,000	21,703	123,000	300,000	574,703	
平成11年	200,000	10,000	148,653	300,000	658,653	全国大会出場
平成12年	177,407	93,385	192,167	200,000	662,959	
平成13年	167,400	202,392	269,587	200,000	839,379	新入生勧誘資金
平成14年	162,000	120,781	166,776	200,000	649,557	新入生勧誘資金

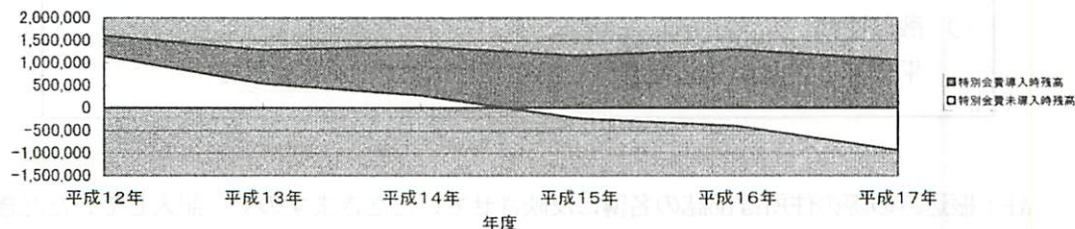
必要経費の推移(項目別)



OB会特別会費の効果 (網掛け:実測値、網掛け無し:予測値)

	前年残高	必要経費	収入(OB会費)+利息等	特別会費未導入時残高	特別会費	特別会費導入時残高
平成12年	1,481,321	662,959	53700×5 330,587	1,148,949	452,880	1,601,829
平成13年	1,601,829	839,379	53700×4 224,022	533,592	301,183	1,287,655
平成14年	1,287,655	649,557	53700×7 380,423	264,458	348,300	1,364,821
平成15年	1,364,821	1,040,000	53700×10 537,000	-238,542	300,000	1,161,821
平成16年	1,364,821	800,000	53700×8 429,600	-405,942	300,000	1,294,421
平成17年	1,294,421	800,000	53700×5 268,500	-937,442	300,000	1,062,921

OB会特別会費の効果



## 平成15年度特別別会費納入の依頼について

平成12年度から特別会費の納入についてお願いしておりましたが、皆様の御協力により平成14年度は、¥346,300の特別会費を徴収することができました。この場を借りて篤く御礼申し上げます。

14年度の会計も平成13年度に引き続き支出事項の見直しを行い、支出を前年度程度に維持することができました。引き続き、会費の減少を抑えて円滑な活動を行うために、更なる経費削減を継続し、支出抑制を図る所存であります。

しかしながら、現在の部員数(部員名簿参照)を考慮すれば、主要な収入源である新規OB会員の入会費(一人当たり¥53,700)は、当分の間は現在と同様な状況が続くことが見込まれます。その一方で、これ以上の経費削減は極めて困難であると考えられ、今後今年度と同程度の特別会費がいただけたとしても、数年後には大変厳しい状況になります。

これを改善するためには部員数の拡充と経費の効率的使用はもちろんのことですが引き続きOBの皆様から特別会費をいただく必要となります。このため、平成14年度に引き続き、H15年度以降も奥平会の皆様から下枠に示す特別会費の納入をお願いしたいと思います。これにより、会費の漸減を押さえることが出来ると見込んでおります(付紙参照)。より多くのOB会員のご協力をお願いいたします。

納入方法は、下記のとおり同封の振込用紙にて指定口座にお振り込み下さい。

各駐屯地・基地毎で一括して納入していただけると幸いです。

平成14年度奥平会幹事

- 徴収額  
3,000円/1人
- 徴収方法  
各会員毎または各駐屯地・基地一括での郵便口座振り込み
- 納入期限  
決算を1月に行うため平成15年12月31日までをお願いいたします。
- 徴収期間  
平成12年度から卒業生が14名以上に増加する年度まで

注：振込みの際の住所は部誌の名簿に反映させていただきますので、記入していただきますようお願いいたします。

## 平成 1 4 年度奥平会活動成果報告

### 1 少林寺拳法部活動支援

- (1) 平成 1 4 年度防大少林寺拳法部活動成果・・・部誌該当項目参照
- (2) 各種活動に対し、防大所属会員により金銭的・人的支援を実施した。
- (3) 夏合宿、関東学生大会、全日本大会には近隣の会員からの激励、金銭的支援を受けた。
- (4) OB 交流を通じて、合同練習対象工を拡大した。(青山学院大学図書合同練習)

### 2 横須賀・三浦ブロック活動参加

- (1) 月例会議参加 (監督・米山、高取)
- (2) 6 月 16 日：横須賀市民大会協力 (競技集計係)
- (3) 9 月 1 日：神奈川県大会協力 (競技集計係)
- (4) 合同練習・昇級審査及びビデオ撮影・編集協力 (ビデオ・CD-ROM 作成)
- (5) 2 月 2 日：ブロック新春の集い協力及び参加

### 3 関東学生 OB 連合会活動参加

- (1) 月例会議参加 (2 6 期澤木)
- (2) 5 月 4 日：OB 交流会参加 (関東学生大会時)
- (3) 6 月 2 日：早稲田大学少林寺拳法部創立 4 0 周年祝賀会参加 (鈴木副会長、2 6 期澤木)
- (4) 7 月 13 日：東京大学少林寺拳法部創立 4 0 周年祝賀会参加 (鈴木副会長、監督米山)
- (5) 9 月 14 日：日本大学少林寺拳法部創立 4 0 周年祝賀会に対する祝電の送付
- (6) 10 月 19 日：関東学生 OB 連合会創立 2 0 周年祝賀会参加 (1 1 名)

### 4 校内活動

- (1) 少林寺拳法部顧問会議 (月 1 回基準)
- (2) 政権・OB 合同会議 (必要の都度)
- (3) ホームページの作成及び運営
- (4) OB の指導力の向上：
  - ・ 武道専門学校入学 (米山・高取、井田)
  - ・ OB の自衛隊大会参加 (役員、現役選手)

## 平成14年度 会計報告・会計監査報告

## 1 収支報告

収入	
前年度繰越金	1,287,655
46期OB会費	375,900
OB特別会費	346,300
利息	4,523
小計	726,723
総計	2,014,378

支出	
大会支援金	
関東学生大会	50,000
全自衛隊大会	32,000
全日本学生大会	80,000
小計	162,000
学生支援金	
春合宿支援金	0
夏合宿支援金	8,626
新入生獲得支援金	111,105
その他	1,050
小計	120,781
技術向上支援金(師範代)	200,000
奥平会運営費	
関東OB連合会関連	93,000
三浦ブロック関連	11,300
部誌発行関連	40,776
OB杯・慶事等	21,700
小計	166,776
総計	649,557

## 2 残高報告

¥1,364,821 円

上記内容に異常ありません。

井田輝彦 (印)

平成14年度奥平会会計係

## 3 会計監査

厳正な監査の結果、会則に基づき適正に運営されていることを報告します。

会計監査委員

久保敏彦 (印)

## 平成15年度 奥平会活動計画

## 1 活動内容

## (1) 部活動支援

金銭的・人的支援を継続して実施する。この際、臨時OB会費を有効に活用する。

## (2) 横須賀・三浦ブロック活動参加

近隣支部との合同練習を活発に実施する。

## (3) 関東学生OB連合会活動参加

懇親会を通じて交流のできた大学との合同練習機会を拡大する。(現在、東京農大、青学、早稲田、慶応、法政、上智、駒沢、他調整中)

## (4) 校内活動

OBの部活動・練習参加は定着しつつあるが、更にOB自身の技術向上を図る。

## 2 部の活動予定

部誌の該当項目参照

## 3 活動に当たっての重点事項

- (1) 臨時OB会費徴収を卒業部員が当分の間継続する。(1学年部員が減少したため)
- (2) 新入部員獲得に重点的な支援を行う。(ダイレクトメール、金銭支援、勧誘活動)
- (3) 指導に当たる4学年が8名であるので、OBが積極的に技術指導に当たる。
- (4) OBの技術向上のため、武道専門学校への入学及び各種大会への参加を14年度以上に推進する。
- (5) 他駐屯地・基地からのOB支援・激励を積極的に得る。
- (6) 計画的な人事要望を上申し、各幕と連繋しながら、防大勤務OBの増加を図る。
- (7) 期連絡網が有効に機能していないので、メールアドレスを含めた連絡網を再構築し、連絡体制の効率化・迅速化を図る。

## 平成15年度奥平会予算計画（平成15年1月1日～同年12月31日）

## 1 収支案

収入	
前年度繰越金	1,364,821
小計	1,364,821
47期OB会費	537,000
OB特別会費	300,000
利息	5,000
小計	842,000
総計	2,206,821

支出	
大会支援金	
関東学生大会	50,000
全自衛隊大会	50,000
全日本学生大会	80,000
小計	180,000
学生支援金	
春合宿支援金	5,000
夏合宿支援金	10,000
新入生獲得支援金	60,000
アジア大会支援金	320,000
小計	395,000
技術向上支援金(師範代)	200,000
奥平会運営費	
関東OB連合会関連	90,000
三浦ブロック関連	70,000
部誌発行関連	45,000
OB杯・慶事等	60,000
小計	265,000
総計	1,040,000

## 2 収支合計

¥1,166,821 円





## 奥平会名誉会員名簿

職名	氏名	現所属及び役職	連絡先
部長	菅野 等	応用化学科 教授	〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東 6-34-1-411 Tel 045-786-5877
師範	神田 憲和	三多摩副道院長 准範士 6 段	〒164-0003 中野区東中野 2-14-7 Tel 03-3363-6275
師範	頼 富 英 武	少年工科学学校顧問 准範士 6 段	〒238-0315 横須賀市林 5-6-11 Tel 0468-56-7663
前部長	丸川 武志		〒120-0046 足立区小台 2-33-2 Tel 03-3919-5910
顧問	高橋 信明	応用物理学科 教授	〒236-0045 横浜市金沢区釜利谷南 3-16-16 Tel 045-784-2339
顧問	有賀 敦	機能材料工学科 講師	〒239-0814 横須賀市二葉 1-55 A-202 Tel 0468-44-0264
元顧問 (OB 以外)	奥平 正人 (奥平会名誉会長)		〒828-0044 豊前市小石原 392-3 Tel 0979-82-2287

## 期連絡担当者

10A	蔵田 弘明	退職	23A	日高 政広	帯広	36A	藤岡 忠生	目黒
11A	勝野 建朗	退職	24F	中館 利光	入間	37N	高取 哲郎	防大
12A	衛藤 利治	退職	25N	内山 哲也	横須賀	38A	奇藤 浩	前川原
13A	高本 俊之	退職	26F	福島 睦	目黒	39A	中村公多朗	土浦
14A	清水 重周	朝霞	27F	堀田 隆治	浜松	40A	上野 洋介	富士
15A	上杉 和壽	目黒	28A	湯浅 悟郎	目黒	41A	後藤 仁志	守山
16A	富本 啓一	福岡地連	29A	甲斐 正人	市ヶ谷	42A	古賀 信之	千僧
17A	福澤 賢	伊丹	30A	福田 洋司	神町	43A	廣瀬 繁	吉井
18F	笠原 久	春日	31N	迫田 浩文	江田島	44A	渡邊 俊明	勝田
19A	屋久 俊郎	朝霞	32A	福重 毅尚	市ヶ谷	45A	八木 新	旭川
20A	小林 実	朝霞	33N	町島 敏幸	小平	46A	菊地 裕紀	那覇
21A	湖崎 隆	市ヶ谷	34A	竹内 博忠	市ヶ谷	47A	矢野 健一	候校
22A	松村 利宏	勝田	35A	戒田 重雄	多賀城			

期別	要員	氏名	基地等	基地番号	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
10	A	黒野 耐	目黒	8756	防研 戦史部	
10	A	三井 光夫	目黒	8756	防研 第2研究部	
10	A	松島 順一	退職		R. S. C	
10	A	清水 爲男	退職			
10	A	蔵田 弘明	退職		安田火災海上保険(株)	10期連絡員
10	F	出田 弘一	退職		大東京火災宮崎サービスセンター調査部	
10	F	鈴木 勝人	御逝去			
10	N	岡崎 昭一	退職			
11	A	坂元 正昭	退職		国際デジタル通信(株)	
11	A	勝野 建郎	退職		東京海上火災保険(株)	11期連絡員
11	A	須崎 了英	退職			
11	A	水野 照夫	退職		東京理科大学	
11	A	廣岡 征夫	退職		廣岡事務所	
11	F	上田 勇作	退職		鹿児島市議会議員	
11	F	清水 正陸	退職			
11	A	田谷 俊之	退職		(株)アスピック管理部	
11	F	藤田 尚				
11	N	佐藤 正秀	退職		愛心会大隅鹿屋病院	
11	N	渡辺 貞吉	退職		(株)日立アドバンスシステムズ	
12	A	衛藤 利治	退職			12期連絡員
12	A	新井 宏	御逝去			
12	F	田中 紘治	退職			
12	F	野口 昭徳	退職			
12	N	橋田 典幸	退職		東京海上火災	
12	N	佐藤 備凡	退職		東京海上火災保険	12期主将
12	N	湊川 保夫	退職		JRC特機呉事業所	
13	A	益田 修	小倉	18942	小倉駐屯地業務隊	
13	A	戸田 勝秋	守山	18531	第10後方支援連隊 本部及び本部付隊	
13	A	高本 俊之	退職		山陽セフティー(株)	13期主将 13期連絡員
13	A	西村 繁樹	防大	8402	防大国防論教授	
13	A	石原 隆雄	北熊本	18963	北熊本駐屯地業務隊	
13	A	白石 克成	退職			
13	F	松生 剛	退職			
14	A	原田 敏男	退職			
14	A	清水 重周	朝霞	18782	研究本部 第2研究課長	14期連絡員
14	A	清水 直正	相馬原	18451	相馬駐屯地業務隊長	
14	A	斎藤 正精	退職		日本IBM(株)	
14	A	赤瀬 良二	北千歳	18142	第1特科団副団長	
14	A	中原 勇	宇治	18722	関西補給処長	14期副将 奥平会会長
14	F	高須 好美	退職		高須電気エンジニアリング(株)	14期主将
14	F	今井 岸夫	退職		三陽機器(株)	
14	N	森田 則広	御逝去			
15	A	安村 幸次	横浜	18365	横浜防衛施設局事業部	
15	A	井口 昌之	古河	18354	古河駐屯地業務隊長	
15	A	遠田 雅美	札幌	18112	会計監査隊北部方面分遣隊副隊長	
15	A	奥野 耕三	大久保	18726	大久保駐屯地業務隊長	
15	A	岡 隆	高田	18453	高田駐屯地業務隊長	
15	A	加藤 三千夫	富士	18502	開発実験団 装備実験隊長	
15	A	花房 晃夫	退職			15期主将
15	A	古川 照久	市ヶ谷A	8640	中央調査隊長	
15	A	三嶋 利克	朝霞	18782	朝霞駐屯地東部方面調査隊	
15	A	上杉 和壽	海田市	18832	海田市駐屯地業務隊長	15期連絡員
15	A	大竹 義信	市ヶ谷A	8640	契約本部契約管理部2課長	
15	A	長舩 敬天	福知山	18717	福知山駐屯地業務隊長	
15	A	土居 良治	千僧	18713	第115地区警務隊長	
15	A	野間口光男	退職		鹿児島県立始良病院	
15	F	島田 徹	浜松	38552	教材整備隊司令	
15	F	福嶋 健司	春日	38842	西空司令部監察官	
15	N	今村 修三	舞鶴	28772	海上訓練指導隊司令	
15	N	山下 啓介	退職		(株)インテック 特機システム部	
15	N	山崎 富雄	目黒	8742	海上自衛隊幹部学校	
15	N	中島 栄一	目黒	8742	海上自衛隊幹部学校長	
16	A	芦岡 広明	八尾	18715	中部方面航空隊本部	16期主将
16	A	岡田 正一	川西	18732	中部方面指揮所訓練支援隊副隊長	
16	A	佐々木 二郎	小平	18362	小平学校	
16	A	斎藤 健治	宇治	18722	関西補給処調達会計部長	
16	A	竹内 準一	善通寺	18862	善通寺駐屯地業務隊長	
16	A	内山 晃	小平	18362	小平学校	
16	A	富本 啓二	福岡	1000	福岡地連部長	16期副将・連絡員
16	A	平川 真士	香川	1000	香川地連部長	
16	F	小笠原 猛	退職		自営業	
16	F	八木橋 享	御逝去			
16	N	阿部 哲夫	船越	28492	指揮通信開発隊司令	
16	N	福島 夫	御逝去			
17	A	吉川 雄二	市ヶ谷A	8640	技術研究本部第3研究所	
17	A	荒木 正廣	健軍	18992	西部方面総監部陸連絡官	
17	A	高橋 輝正	退職		NEC無線事業本部 誘導光電事業部	
17	A	佐藤 吉信	霞目	18243	東北方面航空隊長	
17	A	小坂 正志	市ヶ谷A	8640	会計監査隊本部	

期別	要員	氏名	基地等	基地番号	所属部隊等	主将・副将・期連絡員
17	A	小池 保治	福岡	18491	4師団司令部 幕僚長	
17	A	村田 芳次	小平	18362	小平学校 システム教育部	
17	A	中尾 吉孝	小平	18362	小平学校 人事教育部	
17	A	飯島 定雄	市ヶ谷 A	8640	契約本部	
17	A	富安 久芳	相浦	18973	相浦駐屯地業務隊長	17期副将
17	A	福澤 賢	伊丹	18732	中部方面總監部 総務部長	17期連絡員
17	A	鈴木 陽	市ヶ谷 A	8756	防衛研究所 副所長	奥平会副会長
17	A	廣瀬 誠	市ヶ谷 A	8640	陸上幕僚監部教育訓練部長	
17	F	磯野 茂樹	浜松	38552	警空隊 第2整備群司令	
17	F	稲見 潔	木更津	38396	1補 整備部長	
17	F	水富 信吉	築城	38913	第8航空団 事故調査部長	
17	F	細田 敏夫	退職		三条機械製作所(株)	
17	F	山本 剛	退職		大成ロテック(株) 北海道支社	
17	F	松田 清明	那覇	38982	南混司 装備部 計画課	
17	F	西岡 義博	人間	38432	第2補給本部 業務部長	
17	F	石渡 幹生	十条	38822	契約本部東京支部長	
17	F	前田 慎一	防大	8402	防大国防論教授	
17	F	澤 博海	退職		広島県庁 土木建築部	17期主将
17	N	久和 清幸	呉	28872	はりま	
17	N	西嶋 正幹	退職			
17	N	塔岡 道夫	横須賀	28412	あすか	17期副将
18	A	安藤 恒夫	宇都宮	1000	自衛隊栃木地方連絡部	
18	A	河野 基春	飯塚	18943	第2施設群 副群長	
18	A	宮田 秀二	北宇都宮	18343	航空学校宇都宮分校	
18	A	工藤 重見	十条	18822	補給統制本部	
18	A	柴村 敏二	東立川	18444	中央地理隊長	
18	A	首藤 敏明	松戸	18392	高品学校	
18	A	上田 正文	朝霞	18782	東部方面總監部 人事部	
18	A	千原 和人	朝日	18888	関東補給処朝日燃料支処長	
18	A	川原 彰	小平	18362	小平学校	
18	A	大西 正俊	市ヶ谷 A	8640	陸上幕僚監部装備部副部長	
18	A	中島 仁文	佐賀	1000	自衛隊佐賀地方連絡部	
18	A	渡辺 義幸	目達原	18952	九州補給処 総務部長	
18	A	門野 陸廣	十条	18822	補給統制本部 装備計画課長	
18	A	麩澤 章雄	上富良野	18162	第2戦車連隊副連隊長	
18	F	笠原 久	春日	38842	西警団 基地業務群司令	18期連絡員
18	F	勘米 良幸一	御薮去			18期主将
18	F	長尾 寛	三沢	38272	管制群司令	18期副将
18	F	白教 裕樹	退職		京都産業大学	
18	N	岩岡 秀樹	佐世保	28892	第62護衛隊	
18	N	近藤 清司	下北	22381	下北海洋観測所	
18	N	松井 博	市ヶ谷 N	8650	統合幕僚会議事務局	
18	N	平原 誠	舞鶴	28772	舞鶴航空基地隊	
19	A	園部 武典	市ヶ谷 A	8640	陸上幕僚監部 調査部調査課	19期副将
19	A	屋久 俊郎	朝霞	18782	東部方面總監部 防衛部運用室運用係長	19期連絡員
19	A	古庄 和裕	健軍	18992	西部方面總監部 総務部 広報室長	
19	A	三星 忠正	仙台	18212	東北方面調査隊本部	
19	A	青柳 忍	朝霞	18782	東部方面總監部 監察官室	
19	A	前之園 敏雄	高田	18453	第5施設群副群長	19期主将
19	A	津留 崎清宝	山梨	1000	山梨地方連絡部	
19	A	東 光博	退職		概フォーカスシステムズ	
19	A	迫田 直心	前川原	18955	幹部候補生学校 学生隊本部	
19	A	野村 俊朗	朝霞	18782	研究本部 第3研究課	
19	A	廣瀬 和紀	大村	18975	第16普通科連隊副連隊長	
19	F	磯 光三	十条	38822	契約本部東京支部府中主任検査官	
19	F	園山 栄一	退職		米国在住	19期副将
19	F	吉本 博	小松	38581	第6空団司令部 装備部	
19	F	郷田 進	市ヶ谷 F	8660	情報本部 緊急動態部	
19	F	小曲 一之	立川	18445	航空安全管理隊	
19	F	松下 睦裕	市ヶ谷 F	8660	航空幕僚監部 人事教育部	
19	F	杉山 昌宏	退職		東芝マイクロエレクトロニクス(株) ASIC開発部	
19	F	田中 秀明	相模原	4359	技術研究本部 第4研究所	
19	F	藤井 和弥	百里	38442	第7航空団 整備補給群	
19	N	松山 守秀	大村	28975	第22航空群司令部	
20	A	高岡 正明	勝田	18363	施設学校	
20	A	榎 喜隆	仙台	18212	東北補給所 通信部長	20期副将
20	A	山形 克己	市ヶ谷 A	8640	陸幕 装備 航空機課長	
20	A	小林 実	朝霞	18782	研究本部 第4研究科 11研究室	20期連絡員
20	A	浅原 昭夫	霞ヶ浦	18792	航空学校霞ヶ浦分校	
20	A	仲原 久晃	市ヶ谷 A	8640	契約本部	20期主将
20	A	楠本 裕幸	東千歳	18102	第11普通科連隊長	
20	A	馬場 崎 修	退職		星商事(株) 東京支社	
20	A	半澤 康司	市ヶ谷 A	8640	情報本部 画像第2課長	20期副将
20	A	伏木 亨	十条	18822	補給統制本部	
20	F	岳川 清美	下飯島	38915	西警団 第9警戒群	
20	F	岸本 昌文	退職		三菱重工(株) 名古屋航空宇宙システム製作所	
20	F	高林 久	防府北	38883	12教団 航空学生教育群	
20	F	石田 裕	市ヶ谷 F	8660	空幕 監理課 会計監査室	
20	F	田中 和之	府中	38482	作戦情報隊 作戦情報処理部	

期別	要員	氏名	基地等	基地番号	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
20	F	南園 宏	網走	38155	北警団 第28警戒隊	
20	N	木村 孝彦	下総	28382	第203整備補給隊	
21	A	園田 郁夫	習志野	18394	第1空挺団高級幕僚	
21	A	加藤 隆	札幌	18112	北部方面總監部総務課	
21	A	花田 一志	仙台	18212	東北方面調査隊	
21	A	貞生 倫生	伊丹	18732	中部方面總監部整備部	
21	A	桑原 幹夫	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部監理部法務課法務班長	
21	A	湖崎 隆	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部人事部厚生課長	21期連絡員
21	A	高橋 久泰	秋田	1000	秋田地連	
21	A	大谷昭次郎	富士	18502	富士学校教官	
21	A	渡部 誠	富士	18502	開実団 装実隊	
21	A	浜崎 勝	大宮	18355	化学学校	
21	A	野中 敏治	鶴岡			
21	A	澤井 研次	北恵庭	18132	北恵庭駐屯地業務隊長	
21	F	黒澤 豊彦	留學生	38552	1術校 第2教育部	21期主将
21	F	朱 永武	留學生		シंगाポール在住	
21	F	松本 修司	市ヶ谷F	8660	空幕 施設課 建設1班	
21	F	沼田 幸男	十条	38822	補本 1部 1整備課	
21	F	真田 雅章	入間	38432	プログラム管理隊 1プロ隊長	
21	F	杉本 弥行	芦屋	38912	3術校 教務課	
21	F	鍋島 和史	退職			21期副将
21	F	平本 行	百里	38442	第7航空団司令部	
21	F	木山 幸保	十条	38822	補本 計画部 補給課	
21	F	廣江 勝馬	十条	38822	補本 計画部 会計課	
21	N	笹山 宏	退職		(株)笹島板金工業	
21	N	山口 次郎	小松島	28852	小松島航空隊	21期副将
21	N	村田 隆吉	目黒	8742	幹部学校幹部高級課程学生	
21	N	福岡 誠	市ヶ谷N	8650	海幕監理部総務課	
22	A	永栄 文晴	十条	18822	補給統制本部 航空部長	
22	A	吉岡 聖二	南恵庭	18133	第1施設群長	22期主将
22	A	原田 有繁	旭川	18252	2特科連隊 5特科大長	
22	A	財城 昭彦	福知山	18717	第7普通科連隊長	
22	A	松村 利宏	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部防衛部防衛課	22期連絡員
22	A	松本 俊二	美幌	18182	第101特科大隊長	
22	A	大本 健吾	市ヶ谷A	8640	情報本部(察2) 指導官	
22	A	島松 正一	飯塚	18943	第3高射特科群 副群長	
22	A	野口 利保	島松	18130	北海道補給処 装備計画部 企画部長	22期副将
22	F	永瀧 盛重	市ヶ谷F	8660	空幕 整備課 整備第2班	
22	F	横手 裕明	府中	38482	支集団司 防衛部 航空管制課	
22	F	酒井 伸	三沢	38272	北空司 監察官	
22	F	小関 信宏	小牧	38562	5術校 第1教育部	
22	F	堂込 勝也	千歳	38192	特輸隊	22期副将
22	F	木戸 文夫	入間	38432	空救団司令部 防衛部	
22	F	野村 勝廣	市ヶ谷F	8660	空幕 監理課 会計監査室	
22	N	延近 保生	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部整備部航空機課	
22	N	高塚 裕幸	横須賀	28412	開発隊群司令部	
22	N	中谷 茂	呉	28872	呉地方総監部管理部人事課	
22	N	塚田 真司	目黒	8754	幹部学校	
22	N	坊垣内広明	退職			
23	A	浦川 平次	千葉	1000	自衛隊千葉地方連絡部 募集課長	
23	A	奥野 和男	横浜	18365	中央輸送業務隊本部 運用科長	
23	A	丸山 和宏	東千歳	18102	北部方面指揮所訓練支援隊	
23	A	岩田 清文	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 整備部 装備計画課長	
23	A	三木 元秀	久里浜	18476	通信学校 第1教育部 教務課長	23期主将
23	A	若杉 治徳	札幌	18112	北部方面總監部 総務部	
23	A	谷崎 敏弘	真駒内	18171	冬期戦技教育隊 訓練科長	
23	A	日高 政広	帯広	18202	第5特科連隊長	23期連絡員
23	A	廣塚 雅史	朝霞	18782	研究本部第2研究課第6室	
23	F	シンナロン	留學生		タイ王国在住	
23	F	宮田 義章	府中	38482	航空総隊司令部 整備部 輸送班長	
23	F	松尾 茂	岐阜	38542	飛行開発実験団電子戦技術隊長	
23	F	川添 一正	退職			
23	F	池邊 正	那覇		南西防空管制群司令	23期副将
23	F	馬谷 誠二	退職		KSI(株)	
23	N	井口 義定	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部監察官室	23期副将
23	N	井ノ久保雄三	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部 防衛部 運用室長	
23	N	山下 啓治	目黒	8754	海上自衛隊幹部学校研究部員	
23	N	四元 和生	呉	28872	いそしお	
23	N	数野 謙一	横須賀	28412	しらせ	
23	N	畑中 孝行	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部 防衛部 運用課	
24	A	稲葉 貞志	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部 運用課	
24	A	芹川 慎介	札幌	18112	北部方面總監部 調査部	
24	A	金田 辰美	市ヶ谷A	8640	契約本部	
24	A	高澤 慎司	退職		(株)東京アイシーエス	
24	A	山川 純次	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 整備部 開発課 総括班長	
24	A	山田 雅巳	伊丹	18732	中部方面總監部 人事部	
24	A	常田 義則	退職		日立コユウター機器(株)	
24	A	西津 諱	大津	18729	第2教育団 本部	
24	A	浅野 博義	市ヶ谷A	8640	統幕(3室)	

期別	要員	氏名	基地等	基地番号	所属部隊等	主将・副将・期連絡員
24	A	太田 尚志	練馬	18311	第1後方支援連隊長	24期副将
24	A	大久保和美	富士	18502	富士学校 普通科部	
24	A	中村 健蔵	市ヶ谷A	8640	技術研究本部 企画室	
24	A	堀之内 誠	小平	18362	小平学校	
24	A	河 靖隆	伊丹	18732	中部方面總監部 装備部	
24	F	佐藤 秀幸	椎内	38154	北警団 第18警戒隊	
24	F	山田 眞一	春日	38842	西部航空方面隊司令部 防衛部 防衛課	
24	F	出口 潔	市ヶ谷F	8660	航空幕僚監部 会計課 経理班	24期主将
24	F	清水 尚志	入間	38432	3補 調達部 原計課	
24	F	中館 利光	入間	38432	4補 調達部 調達管理課長	24期連絡員
24	F	藤城 希恭	府中	38482	航空総隊司令部 防衛部 運用課	
24	N	佐伯 泰啓	横須賀	28412	はるさめ	
24	N	山本 浩	退職		有山本産業	
24	N	小川 勝志	横須賀	28412	横須賀基地業務隊本部補充部	
24	N	松田 俊宏	退職			24期副将
24	N	中村 早速	江田島	28812	第1術科学校	
24	N	長谷川 隆	退職		株式会社	
25	A	岡元 正一	福島	18246	福島駐屯地業務隊	
25	A	佐伯 義次	富士	18502	富士学校 普通科部	
25	A	若本 順二	千僧	18713	第3師団司令部 総務課	
25	A	重石 義幸	富士	18502	富士学校 特科部 訓練評価室長	
25	A	小菅 康雄	富士	18502	開発実験団 総務部	
25	A	小野寺 靖	相馬原	18451	第12旅団司令部 第3部長	
25	A	石川 哲也	練馬	18311	第1師団司令部 法務官	
25	A	大内 元	東千歳	18102	第7師団司令部 第4部長	
25	A	田草川 茂人	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 監察官	25期副将
25	F	安芸 一	市ヶ谷F	8660	統合幕僚会議事務局 第1幕僚室 企画班	
25	F	坂本 卓己	十条	38822	補給本部企画課長	25期副将
25	F	藤吉 恵一	十条	38822	補給統制本部 計画部 企画部	
25	F	尾崎 信朗	那覇	38902	83空 整備群 装備隊	
25	N	河村 正雄	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部 防衛部 防衛課	
25	N	高島 修	下総	28382	第205教育航空隊	
25	N	杉原 耕二	呉	28872	練習艦隊司令部	
25	N	内山 哲也	横須賀	28412	うみぎり艦長	25期主将 連絡員
25	N	龍谷 貴年	呉	28872	ふゆしお	
26	A	河原 敏和	退職		第1地所係	
26	A	吉田 英紀	船岡	18245	第2施設団 本部及び本部付隊	
26	A	吉田 吉安	船岡	18245	第10施設群 本部中隊	
26	A	及川 孝夫	留萌	18165	第26普通科連隊	
26	A	金子 寿弥	仙台	18212	東北方面總監部 装備部	
26	A	坂野 佳彦	小平	18362	小平学校	
26	A	山下 清隆	下志津	18393	高射学校	
26	A	小野 長門	退職		熊本工業大学	
26	A	松田 正行	菅広	18202	第5師団司令部2部長	
26	A	石山 暁	朝霞	18782	東部方面總監部 防衛部	
26	A	石川 毅	朝霞	18782	研究本部	
26	A	瀧沢 由則	退職		三菱ハーストフューズ	
26	A	谷 俊彦	伊丹	18732	中部方面總監部 防衛部	
26	A	中村 明弘	退職			
26	A	内海 浩	目黒	8742	幹部学校科学技術教官室	
26	A	友部 隆	美幌	18182	第6普通科連隊 本部及び本部管理中隊	
26	F	星川 敦	百里	38442	偵察航空隊 整備群 整備主任	
26	F	池島 暢也	茨城	1000	茨城地方連絡部 募集課長	26期副将
26	F	福島 睦	市ヶ谷F	8660	航空幕僚管理監部 班長	26期連絡員
26	F	米子 誠二	入間	38432	3補 調達部 調管課	
26	F	澤木 優輔	退職		未来産業団	
26	N	佐藤 寿紀	目黒	8742	統合幕僚学校 学生	
26	N	市坪 秀明	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部 防衛部 運用課	
26	N	上野 真一郎	厚木	28702	第51航空隊	
26	N	水野 伸彦	八戸	28282	第2航空隊	
26	N	杉山 義和	目黒	8742	統合幕僚学校 学生	26期副将
26	N	相良 達也	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部 人事部 厚生課	
26	N	道満 誠一	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部 人事教育部 教育班長	26期主将
26	N	平野 勝	舞鶴	28772	舞鶴地方總監部	
27	A	角南 良治	海田市	18832	第13旅団3部長	
27	A	行事 正	富士	18502	開発実験団 装備実験隊	
27	A	山之上 哲郎	市ヶ谷A	8640	中央資料隊付(米国)	
27	A	緒方 禎浩	御通去			27期副将
27	A	川村 治彦	退職		小野田自然塾	27期主将
27	A	大居 一之	市ヶ谷A	8640	技術研究本部	
27	A	大場 基美雄	霞ヶ浦	18792	霞ヶ浦駐屯地業務隊付	
27	A	大石 隆一	市ヶ谷A	8640	中央調査隊	
27	A	長合 友造	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部 研究課	
27	A	津田 浩司	豊川	18533	第10特科連隊 第5大隊長	
27	A	馬場 政和	退職			
27	A	舞原 博己	健軍	18992	西部方面總監部 装備部	
27	A	米山 多佳志	東千歳	18102	第7師団司令部 第2部長	
27	A	濱田 秀	目黒	8756	防衛研究所	
27	F	兼古 修	新田原	38932	第5空団飛行群 202飛行隊	

期別	要員	氏名	基地等	基地番号	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
27	F	元木 啓嗣	市ヶ谷F	8660	航空中央業務隊	
27	F	甲斐 新太	築城	38913	8空団 整備群 修理隊	
27	F	高野 宗治	小松	38581	6空団 整備群 群本部	
27	N	小川 昌宏	船越	28492	海上自衛隊第2術科学校	
27	F	西山 利昭	退職		水沢稅務会計事務所	
27	F	蔵田 衛人	退職		日商岩井	
27	F	沢村 徹	退職		リアル	27期副将
27	F	堀田 隆治	目黒	8742	統合幕僚学校 学生	27期連絡員
27	N	益田 徹也	市ヶ谷N	8650	外務省出向(ロシア)	
27	N	五領 隆男	呉	28872	第1潜水隊群司令部	
27	N	交口 俊介	市ヶ谷N	8650	統合幕僚会議事務局	
27	N	山田 洋士	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部防衛部指揮通信課	
27	F	足立 謙聡	入間	38432	航空救難団 団司令部 防衛部	
27	N	中里 巧	退職		中島機械(株)	
28	A	永井 大介	退職		日立造船情報システム	
28	A	越水 達哉	退職			
28	A	岡澤 武彦	市ヶ谷	8660	技本 陸開 新戦車準備室	
28	A	吉田 正人	退職		大倉商事 メカトロニクス部	
28	A	畦地 勇	退職		在米日本大使館	
28	A	古賀 敬明	仙台	18212	東北方面総監部 総務部	
28	A	幸野 英明	健軍	18992	西部方面総監部防衛部防衛班長	
28	A	三好 邦夫	富士	18502	開発実験団 装備実験隊 第2実験科	
28	A	足立 哲彦	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 装備部 装計	
28	A	鶴見 耕市	退職		東電設計(株)	
28	A	湯浅 悟郎	目黒	8756	防衛研究所 一般課程	28期主将 連絡員
28	A	藤原 修	名寄	18164	第2偵察隊	
28	A	日高 信行	帯広	18202	第4普通科連隊	
28	A	北原 秀章	市ヶ谷A	8640	陸幕 調査部付(ミャンマー)	
28	A	矢野 光宏	市ヶ谷A	8640	統合幕僚会議 3幕	28期副将
28	F	今井 邦夫	十条	38822	補給本部 計画部企画課	
28	F	山田 顕嗣	防府北	38883	航空学生教育群教育主任	
28	F	神山 隆	退職		キャンノン	
28	F	白水 裕人	浜松	38552	警戒航空隊 空管隊長	
28	F	米田 健二	退職			
28	F	堀米 浩章	市ヶ谷F	8660	統合幕僚会議3室運用1班	
28	F	未廣 勝己	岐阜	38542	飛行開発実験団飛実群飛行隊	
28	N	河津 益	那覇	28982	第5整備補給隊	
28	N	上野 清昭	目黒	8754	陸自幹部学校AGS	
28	N	西小路 謙	退職		航空大学校	28期副将
28	N	竹本 直忠	横須賀	28412	たかなみ副長	
28	N	中川 勝也	退職		トヨタ自動車 第2ボディ設計部	
28	N	内田 公明	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部 装備部 艦船課	
28	N	平島 一	退職		日本電産相談(株)	
28	N	鈴木 巧	退職		フクダ電子	
29	A	松岡 恭一	退職		日立製作所併	
29	A	駒井 紀美彦	伊丹	18732	中部方面総監部 装備部	
29	A	古川 靖人	仙台	18212	東北方面総監部 装備部	
29	A	古田 清悟	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部 研究課	
29	A	甲斐 正人	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 人事部 募集課	29期連絡員
29	A	坂井 辰也	退職			29期主将
29	A	新保 博徳	桂	18723	中部方面武器隊本部	
29	A	水上 義仁	市ヶ谷A	8640	システム管理運営隊長	
29	A	青柳 光	退職		山梨ソフトウェア(株)	
29	A	川上 和美	退職		不明	
29	A	浅川 玉樹	退職		日産自動車併	
29	A	大川 浩史	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 教育訓練部 訓練課 評価班	29期副将
29	A	託摩 安廣	退職		たくま齒科医院	
29	A	谷 拓弥	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 調査部 調査課	
29	A	中村 浩之	帯広	18202	第5高射特科大隊長	
29	A	津田 芳明	十条	18822	補給統制本部	
29	A	立林 剛	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 調査部 調査課	29期副将
29	A	鈴木 総一郎	御逝去			
29	A	蛭原 良雄	十条	18822	補給統制本部	
29	F	熊田原 修	大阪	2000	契約本部 大阪支部	
29	F	高松 実	千歳	38192	2空団 整備群 修理隊	
29	F	西村 政恭	市ヶ谷A	8640	航空幕僚監部 運用第2班	
29	N	宮田 敏邦	横須賀	28412	しらね	
29	N	佐竹 右幾	退職			
29	N	山崎 浩一	横須賀	28412	しらゆき	
29	N	小屋敷 秀彦	退職			
29	N	柏木 均	横須賀	28412	おやしお	
30	A	笠島 広文	退職		鯖江市役所市長室	
30	A	岩熊 真司	旭川	18252	第2化学防護隊長	
30	A	龜山 淳	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部 運用課	
30	A	宮本 善弘	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 教育訓練部 訓練課	
30	A	魚住 晴康	練馬	18311	1師団司令部	
30	A	魚野 治晴	退職		メリルリンチ証券(株)	
30	A	山口 芳正	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部 運用	
30	A	松岡 恭一	退職		日立製作所(株) ディフェンスシステム事業部企画管理部	



期別	要員	氏名	基地等	基地番号	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
30	A	菅野 俊夫	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 装備部 開発課	
30	A	西 良典	朝霞	18782	研究本部	
30	A	船津 達男	退職		嘉穂東高校	
30	A	池永 博和	市ヶ谷A	8640	情報本部	30期副将
30	A	中井 馨	退職		日本アーム工業	
30	A	中森 雅美	立川	18445	第1飛行隊長	
30	A	中川 洋行	霞ヶ浦	18792	航空学校霞ヶ浦分校	
30	A	中村 大助	朝霞	18782	東部方面總監部 防衛部	
30	A	土屋 甲吉	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 訓練部 教育課	
30	A	福田 洋司	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 総務課	30期主将 連絡員
30	A	矢納 裕二	朝霞	18782	研究本部	
30	A	林 宏幸	勝田	18363	施設教導隊施設器材中隊	
30	F	吉田 憲司	市ヶ谷F	8660	航空幕僚監部 施設課 通信建設班	30期副将
30	F	橋爪 猛	市ヶ谷F	8660	航空幕僚監部 補給課 補給第3班	
30	F	栗田 尚幸	御遊去			
30	F	後藤 豊	退職		上山病院	
30	F	高橋 親敏	市ヶ谷F	8660	航空幕僚監部 装備課 輸送室	
30	F	黒田 健一	退職		フランス在住	
30	F	西本 彰雄		38552	中警団	
30	N	時久 寛司	鹿屋	28922	第1整備補給隊	
30	N	湯浅 秀樹	舞鶴	28772	みねゆき	
30	N	百崎 邦彦		28872	練習艦隊司令部	
30	N	鈴木 達雄	退職		三菱重工	
31	A	亀山 慎二	市ヶ谷A	8640	中央資料隊付(米国)	31期副将
31	A	吉武 辰明	春日井	18537	第10後方支援連隊 輸送隊長	31期主将
31	A	久富 博幸	退職		新日本証券㈱ 債権部商品課	
31	A	久保 敏浩	千僧	18713	第3後方支援連隊	
31	A	橋本 哲彰	朝霞	18782	研究本部	
31	A	佐野 光	旭川	18252	第2飛行隊長	
31	A	松井 健一	富士	18502	開発実験団 装備実験隊	
31	A	石丸 威司	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部 研究課	
31	A	大島 龍一郎	退職		松下興産㈱	
31	A	辰巳 竜悟	退職		TUVラインランド技研㈱ システム認証部	
31	A	池ノ本 八郎	与座	18901	107高射直接支援隊長	
31	A	中川 博英	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 人事部 厚生	
31	A	植野 健治	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 人事部 人事計画課	
31	A	辻 政幸	青野原	18718	309高射中隊長	
31	A	田口 直志	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 装備部 武器課	
31	A	藤岡 登志樹	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 監理部 会計	
31	F	阿部 博文	目黒	8754	幹部学校	
31	F	近藤 良彦	春日	38842	西空司 防衛部 運用課	
31	F	渡澤 寛	百里	38442	偵空隊 検査隊	
31	F	小南 良人	御遊去			
31	F	北村 克晶	目黒	8754	幹部学校	
31	F	野沢 隆一	入間	38432	中空司 防衛部 防衛課	31期副将
31	N	岡田 岳司	呉	28872	第4護衛隊司令部幕僚	
31	N	蝦名 伸治	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部 調査部 調査課	
31	N	久保田 修一	佐世保	28892	こんごう 船務長	
31	N	甲斐 義博	佐世保	28892	佐世保地方總監部 人事部	
31	N	大井 一史	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部 防衛部	
31	N	迫田 浩文	江田島	28812	第1術科学校 教官	31期連絡員
32	A	境 孝明	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 監理部 総務課	
32	A	更エ 雅彦	退職		奈良県警察	
32	A	山地 伸一	市ヶ谷A	8640	外務省出向(オーストリア大使館)	
32	A	市来 道啓	退職		秋貞逸郎税理士事務所	
32	A	小原 真二	退職		エアニッポン	
32	A	小田 益男	市ヶ谷A	8640	第1次東チモール派遣施設群	
32	A	上山 聡	市ヶ谷A	8640	情報本部電波部	
32	A	神保 俊昭	退職			
32	A	川崎 誠二	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部 研究課	
32	A	大塚 裕治	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 監理部 会計課	32期主将
32	A	大塚 和也	朝霞	18872	研究本部	
32	A	竹内 利治	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部付(海上自衛隊201教航隊)	
32	A	中村 裕亮	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部 運用課	
32	A	田口 芳郎	退職		㈱ワールド ジオスポーツ部	32期副将
32	A	福元 昌二	北熊本	18963	第8特科連隊	
32	A	福重 毅尚	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部教育訓練部教育課	32期連絡員
32	A	平田 雄嗣	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部防衛部運用課	32期副将
32	F	高橋 秀雄	市ヶ谷F	8660	航空幕僚監部 防衛課 研究班	
32	F	山口 直人	百里	18442	空教団 飛行群 百里教離隊	
32	F	植村 茂己	小牧	38562	1輸空 整備群 修理隊	
32	F	渡部 誠	市ヶ谷F	8660	航空幕僚監部 運用課 特輸運用室	
32	F	鈴木 憲	市ヶ谷F	8660	統合幕僚会議 事務局	
32	N	河上 康博	市ヶ谷N	8650	海上自衛隊東京業務隊	
32	N	後藤 幸英	退職		㈱ヒューリックカード インテグレーションシステム事業本部	
32	N	松尾 研志	退職			
32	N	澤本 武朝	退職			
33	A	柿野 忠嗣	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 装備部 武器・化学課	
33	A	久永 智	退職		アメリカンファミリー	

期別	要員	氏名	基地等	基地番号	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
33	A	近藤 哲也	旭川	18252	第2特科連隊	
33	A	郡山 直樹	久留米	18955	第4特科連隊	
33	A	細野 容司	海田市	18832	第13後方支援隊本部及び本部付隊	
33	A	山本 真也	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部装備部施設課	
33	A	山本 裕一	古河	18354	第1施設団 本部付	
33	A	川崎 英幸	退職			33期主将
33	A	大津 勝利	市ヶ谷A	8640	中央業務支援隊付	
33	A	谷口喜一郎	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部	33期副将
33	A	池田 誠喜	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部人事課人事計画課	
33	A	中塚 修一	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 教育訓練部 訓練課	
33	A	椎葉 博正	退職		芙蓉総ロリース(株) 新宿支店	
33	A	半澤 新吾	退職			
33	A	富樫 勇一	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 監理部 会計課	
33	F	岡本 秀文	市ヶ谷F	8660	航空幕僚監部 防衛課 分析室	
33	F	御野 広之	三沢	38271	6高群 指揮所運用隊	
33	F	荒木 俊一	市ヶ谷F	8660	統幕事務局	
33	F	高草木 浩寿	松島	38242	第3航空団第3飛行隊	
33	F	新崎 秀樹	三沢	38272	警戒航空隊 601飛行隊	
33	F	増田 友晴	横須賀	28412	海上自衛隊連絡連絡幹部	
33	F	田中 勝也	退職		(株) 兼松	
33	N	鶴澤 直樹	退職			
33	N	関口 雄輝	目黒	8754	指揮幕僚課程	33期副将
33	N	高橋 真一	退職			
33	N	西窪 純	退職			
33	N	町島 敏幸	小平	18362	調査学校露語課程	33期連絡員
33	N	渡邊 浩	佐世保	28892	さわかぜ	
34	A	篠原 康一	朝霞	18782	東部方面後方支援隊	
34	A	松永 康則	久居	18535	第33普通科連隊第2中隊長	34期主将
34	A	石黒 太美英	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部防衛部運用課	
34	A	竹内 博忠	目黒	8754	幹部学校	34期連絡員
34	A	田丸 正勝	東千歳	18102	第11普通科連隊 中隊長	
34	A	田中 一孝	市ヶ谷A	8640	技術研究本部(陸付)	34期副将
34	A	筒井 鏡達	新発田	18454	第30普通科連隊第3中隊長	34期副将
34	A	能井 智治	駒門	18474	第1後方支援連隊第2整備大隊戦車直接支援隊長	
34	A	水室 正一郎	退職		東陶機器(株)商品企画本部第2課	
34	A	平林 理	真駒内	18172	第11戦車大隊	
34	F	羽田 充伸	奈良	38522	幹部候補生学校 学生隊 1中隊	
34	F	河田 成治	退職			
34	F	小笠原 卓人	市ヶ谷F	8660	航空幕僚監部 防衛課 防衛班	
34	F	田代 秀也	市ヶ谷F	8660	航空幕僚監部 厚生課 厚生班	
34	N	丹羽 満良	岩国	28817	第71航空隊	
34	N	富山 修	舞鶴	27772	舞鶴地方総監部防衛部	
35	A	安藤 和幸	目黒	8754	幹部学校(航空自衛隊指揮幕僚課程)	
35	A	戒田 重雄	市ヶ谷A	8640	陸上幕僚監部 防衛部 運用課	35期主将 連絡員
35	A	坂本 雄一	函館	18124	28普通科連隊 第3中隊長	
35	A	瀬戸口 淳	八戸	18802	第5高射特科群本部及び本部管理中隊	
35	A	川嶋 和之	北宇都宮	18343	第12飛行隊	
35	A	袖之原 公郎	帯広	18202	1対戦ヘリ 第2飛行隊	
35	A	中村 健太郎	習志野	18394	第1空挺団本部	35期副将
35	A	中本 尚明	市ヶ谷A	8640	中央業務支援隊付	
35	A	馬淵 貴史	勝田	18363	施設学校	
35	A	福本 博氏	富士	18502	富士学校学生	
35	A	木場 元大	富士	18502	富士学校学生	35期副将
35	F	中澤 武志	小牧	38562	航空救難団航空救難隊	
35	F	堀 修二郎	目黒	8754	幹部学校	
35	N	加藤 寛和	呉	28872	幹部中級掃海課程	
35	N	三浦 則文	呉	28872	しまゆき	
35	N	森泉 周	江田島	28812	幹部候補生学校	
35	N	中原 俊行	横須賀	28412	艦艇開発隊	
36	A	井上 勝	目黒	8754	幹部学校技術高級課程	
36	A	榎窪 正和	下志津	18393	高射学校幹部特修課程	
36	A	岩村 伝法	退職			
36	A	山田 武彦	札幌	18112	北部方面会計隊	
36	A	前田 尚男	北富士	18472	第1特科隊第1特科中隊長	
36	A	倉田 一	目黒	8754	幹部学校指揮幕僚課程	
36	A	村上 至	目黒	8754	幹部学校指揮幕僚課程	
36	A	大北 知史	富士	18502	富士学校機甲科部	
36	A	中村 英昭	目黒	8754	幹部学校指揮幕僚課程	36期副将
36	A	藤岡 史生	目黒	8754	幹部学校指揮幕僚課程	36期主将 連絡員
36	A	日高 邦登	富士	18502	開業団 装束隊 第6実験科	
36	A	福島 浩二	市ヶ谷A	8640	情報本部電波部	
36	A	矢口 鑑	目黒	8754	幹部学校指揮幕僚課程	
36	F	綿森 昭示	浜松	38552	高射教導隊 防衛班	
36	N	鳥越 要	大湊	28292	せとざり	
37	A	河合 寿士	目黒	8754	幹部学校指揮幕僚課程	
37	A	吉田 文二	東千歳	18102	第7師団司令部3部	
37	A	古田 和之	松戸	18392	霰品学校	
37	A	山下 豊	東千歳	18102	北部方面指揮所訓練支援隊	
37	A	児玉 洋	名寄	18164	第3普通科連隊 2中	

期別	要員	氏名	基地等	基地番号	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
37	A	森安 宏徳	市ヶ谷A	8640	東京地連(江東出張所)	
37	A	大山 剛	市ヶ谷A	8640	技術研究本部(GM付)	
37	A	富原 大治	出雲	18834	第13偵察隊	
37	A	平瀬 義	勝田	18363	施設教導隊	37期主将
37	F	久重路 剛	千歳	38192	第2航空団司令部施設班長	
37	F	中居 景	小牧	38562	1輸空 第401飛行隊	
37	F	塚原 敏夫	十条	38822	補給統制本部 4部 4整備課	
37	F	矢坂 勝良	入間	38432	飛行点検隊飛行隊	
37	N	岩本 正行	市ヶ谷N	8650	海上幕僚監部装備部付(米国防MS連絡官)	37期副将
37	N	高取 哲郎	防大	8402	防衛大学校 学生課補導係	37期連絡員
37	N	石原 寿英	退職			
37	N	木下 治信	市ヶ谷N	28292	海上幕僚監部	37期副将
37	N	鈴木 隆弘	大湊	28292	第25護衛隊 ちくま	
38	A	奇藤 浩	前川原	18955	幹部候補生学校	38期主将 連絡員
38	A	宮下 克聡	東千歳	18102	第7特科連隊第3特科大隊第5射撃中隊長	
38	A	高岡 徳人	富士	18502	富士学校普通科部	
38	A	黒子 智彰	木更津	18395	東部方面管制気象隊 第3派遣隊	
38	A	水野 亮二	市ヶ谷A	8640	技術研究本部 第1研究所	
38	A	尼子 将之	勝田	18363	施設教導隊 第2施設中隊長	
38	F	向井 洋史	岐阜	38542	第2補給処 整備部 整技課	38期副将
38	N	高橋 俊隆	館山	28342	第101航空隊	
38	N	佐藤 滝大	厚木	28702	第3航空隊	
38	N	城戸 利彰	岩国	28817	第111航空隊	
38	N	中村 格	船越	28492	第2術科学校	
38	N	平井 穰治	新潟			
39	A	井上 嘉史	目黒	8754	幹部学校指揮幕僚課程	
39	A	井上 裕策	弘前	18234	39普通科連隊 1中	
39	A	遠藤 英隆	(立川)	18445	東チモール派遣施設群(東部方面ヘリ隊)	
39	A	三好 英隆	立川	18445	東部方面ヘリ隊 本部付隊	
39	A	小澤 謙雄	岩手	18232	9特科連隊 2特科大隊 本中部隊	
39	A	杉原 正典	前川原	18955	幹部候補生学校	
39	A	西田 美嗣	遠軽	18167	第25普通科連隊本部及び本部管理中隊	
39	A	達下 裕教	習志野	18394	第1空挺団普通科群本部管理中隊	
39	A	中村 公多	土浦	18353	武器学校	39期主将
39	A	長濱 誠	退職			
39	A	野本 肇	北千歳	18142	第1特科群中隊長	39期副将
39	F	久保 敦	市ヶ谷F	8660	内部部局	
39	F	前床 泰彦	築城	38913	8空団 飛行群 6飛隊	
39	F	大塚 晋介	知念	38908	5高群 第18高射隊	
39	N	松崎 徹	佐世保	28892	佐世保遺修補給所	
39	N	大松 清生	佐世保	28892	とね	
39	N	鳥越 渉	横須賀	28412	いかづち	
40	A	上野 洋介	富士	18502	開発実験団 装備実験隊第5実験科	40期主将 連絡員
40	A	永友 恒知	富士	18502	開発実験団装備実験隊	
40	A	朽木 誠	滝ヶ原	18475	訓練評価支援隊	
40	A	熊本 敏	相浦	18973	西部方面普通科連隊第1普通科中隊	
40	A	高田 善行	朝霞	18782	第1施設大隊第1中隊長	
40	A	奈良 一志	久里浜	18476	通信学校	
40	F	岩本 正臣	浜松	38552	2術校 第1教育部	
40	F	山田 賢治	市ヶ谷F	8660	情報本部	
40	F	守井 孝志	千歳	38192	2空団 飛行群 203飛隊	40期副将
40	F	小坂 淳	美保	38853	第3輸送航空隊	
41	A	阿達 文明	習志野	18394	第1空挺団普通科群	
41	A	吉村 裕樹	岩手	18232	9特科連隊 2特科大隊 本中部隊	
41	A	建部 広喜	帯広	18202	第5施設大隊本部及び本部管理中隊	
41	A	後藤 仁志	守山	18531	35普通科連隊 本中部隊	41期主将 連絡員
41	A	佐久間 博	神町	18261	第20普通科連隊 第1中隊	
41	A	小段 雄三	遠軽	18167	25普通科連隊 第1中隊	
41	A	小林 貴	霞ヶ浦	18792	霞ヶ浦駐屯地業務隊付	
41	A	石井 伸幸	前川原	18955	幹部候補生学校	
41	A	川崎 英輔	富士	18502	特科教導隊 第1射撃中隊	
41	A	曾我辺信久	北熊本	18963	第8高射特科大隊 第2高射中隊	
41	A	中江 宏彰	勝田	18363	施設教導隊 第2施設中隊長	
41	A	島ノ江 英毅	南恵庭	18133	南恵庭駐屯地業務隊	
41	A	片上 裕文	明野	18532	第10飛行隊	
41	A	綿貫 俊一	目達原	18952	第4飛行隊	
41	F	イリバンテス	留学生		フィリピン	
41	F	三宅 英明	百里	38442	7空団 飛行群 204飛隊	41期副将
41	F	松下 尚之	防大	8402	防大理工学研究科学生 電子工学専攻	
41	F	和崎 拓己	岐阜	38542	飛行開発実験団	
41	N	大川 洋史	退職			
42	A	足立 泰範	松本	18452	第13普通科連隊	
42	A	井田 輝彦	防大	8402	防大理工学研究科学生 電子工学専攻	
42	A	葛西 成彦	青森	18231	第5普通科連隊	
42	A	古賀 信之	千歳	18713	第3後方支援連隊 武器大隊	42期主将 連絡員
42	A	清水 優	東千歳	18102	第7後方支援連隊	
42	A	清水 透	退職		京都大学大学院	42期副将
42	A	永島 大	(日本原)	18835	第3次東チモール派遣施設群(第13特科連隊)	
42	N	尾崎 公彦				

期別	要員	氏名	基地等	基地番号	所 属 部 隊 等	主将・副将・期連絡員
42	N	土本 邦彦				
43	A	梅原 航	霞目	18243	東北方ヘリ 2飛	
43	A	作田 雄一	霞目			
43	A	関 大吾	健軍	18992	西部方面会計隊	
43	A	徳永 亘	防大	8402	防大理工学研究科	
43	A	廣瀬 繁	吉井	18456	1 1 1 警務隊 吉井連絡班	43期主将 連絡員
43	A	藤本 祐介	姫路	18716	第3特科連隊	
43	A	古谷 尚久	国分	18964	第1 2 普通科連隊	
43	A	松口 俊三	伊丹	18732	第3 6 普通科連隊 3中	
43	A	奥藤 公彦	真駒内	18172	第1 1 特科連隊	
43	F	春日 英夫	浜松	38552	1 空団 基群 管理隊	
43	N	荒栄 拓也	佐世保	28892	はるゆき	43期副将
43	N	江畑 泰孝	江田島	28812	幹部候補生学校	
43	N	森脇 竜二	大村	28975	大村航空基地隊	
44	A	渡邊 俊明	川内	18967	第8施設大隊	44期主将
44	A	増山 哲治	玖珠	18946	第8戦車大隊 第2中隊	
44	A	八尋 幸	退職			
44	A	遠藤 由紀子	東千歳	18102	第7後方支援連隊 第2整備大隊 特科直接支援中隊	
44	F	伊藤 恒和	那覇	38982	南西航空警戒管制隊	44期副将
44	F	若林 友和	那覇	38982	第83航空隊	
44	N	西尾 美	佐世保	28892	さわかせ	
45	A	八木 新	旭川	18252	第2高射特科大隊第2高射中隊	45期主将
45	A	澤水 隆一	川内	18967	第8施設大隊第1中隊	45期副将
45	N	堤 充良	佐世保	28892	きりさめ	
45	N	津森 聡	横須賀	28412	きりしま	
46	A	菊地 裕紀				46期主将
46	A	阪井 旭	高知	18863	高知駐屯地	46期副将
46	A	高木 聡				
46	A	高橋 牧子	守山	18531	第1 0 後方支援連隊衛生隊	
46	F	山本 剛嗣	千歳	38192	北部航空施設隊第2作業隊	
46	N	伊藤 和典	江田島	28812	幹部候補生学校	

## 編集後記

48期 OB係 郡山 伸衛

### 合掌

桜も咲き始め、ここ小原台にもまた新たな春を迎えようとしています。先輩の皆様はますますご活躍のことと思います。現在の防大少林寺拳法部は部員数22名と少数ながら、48期政権のもと精進している次第であります。近年から我々は、部員数100名を超え、全日本学生大会も何連覇もしていた、“黄金時代”といわれている輝きに追いつこうとし、研鑽してきました。その甲斐あってか昨年は5年ぶりに日本一を勝ち取ることができました。ただ、この黄金時代も、その前から誇りと伝統を伝え続けてくださった先輩たちがいたからのはずです。われわれは、新たな黄金時代のきっかけになるべく、驕ることなく後輩に今まで教わってきたすべてを伝えていく所存です。そのためにも、新入部員勧誘を部員全員で一丸となり、全力を尽くすつもりです。まだまだ弱輩ですが、今まで共にやってきた団結力をいかし、ますます防大少林寺を輝かそうとする我々に、今後も暖かく応援してくれることを願っています。最後になりましたが、今回部誌を作成するに当たり、ご協力してくださったOB、監督をはじめとする関係者の方々に厚く御礼申し上げまして、編集後記とさせていただきます。

結手

